

事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体名の場合は代表者名も記入)	
宋 恵媛	(代表者名:)
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
初期在日朝鮮女性のエクリチュールのアンソロジー出版	
3. 助成額	
380,000 円	
4. 実施期間	
2012 年 8 月 ~ 2013 年 6 月	
5. 実施状況	
①2012 年 9 月末～	出版社との打ち合わせ
②2012 年 8 月～2013 年 5 月	資料の再調査と整理、作品選定
③2012 年 8 月～2013 年 1 月	解説執筆と関連年表の作成
④2012 年 10 月 30 日	緑蔭書房との間で契約書を交わす
⑤2012 年 11 月～2013 年 5 月	朝鮮語作品の日本語への訳出作業とチェック、原稿引渡
⑥2013 年 12 月	刊行予定
6. 事業成果と自己評価	
<p>事業計画にほぼ沿って進められた(実際の出版は年末の予定)。『在日朝鮮人資料叢書9 戦後在日朝鮮女性作品集』として、緑蔭書房ですでに刊行が始まっていたシリーズの一つに組み込まれたことで、資料の公開、保存という観点からはもちろん、盛り込む内容と分量の面からも当初の計画以上の成果を収められた。それに関連して、日本語や日本語訳ばかりでなく、朝鮮語の原文を同時収録できたが、これにより、在日朝鮮女性をより多角的に捉える道をつけることにもある程度貢献できたと自負している。</p> <p>初期の在日朝鮮女性に関しては、まとまった作品集や文献集はこれまで全くといっていいほどなかった。そのような状況の中、今回助成金をいただいたことがきっかけとなり作品集の公刊に至ったことで、今後の在日朝鮮人研究はむろん、近現代日本女性史研究、ダイアスポラ女性研究等の関連分野にも重大な示唆を与える効果が期待できるのではないかと考える。</p>	